

NPO 法人 地域自然情報ネットワーク

平成 18 年度 活動報告

1. 自然環境の調査・解析にかかわる技術の企画・開発および評価事業

●論文（意見）

「野生動物の生息地の推定と現存植生図の利用」 景観生態学会 Vol.11,133-143

2. 自然環境情報にかかわる整備・公開事業

●上サロベツ自然再生協議会（再生技術部会、再生普及部会）

昨年度に引き続き、上サロベツ自然再生協議会とその下部組織である再生技術部会、再生普及部会に参画。GIS データベースを積極的に活用した情報提供、地生態学的な観点からのサロベツ原野や砂丘林帯の再発見や再評価、地域おこしにもつながるエコツアーの実現に向けての取り組みなどの提案や実践を行った。

3. 自然環境保全等にかかわる人材育成・啓蒙活動事業

●兵庫県立淡路景観園芸学校最新緑化コース

自然環境 GIS 入門コースを、兵庫県立淡路景観園芸学校と共催で、06 年 8 月 8,9 日に開催した。自治体職員・実務者・大学院生など 21 名の受講生に対して、GIS を活用して自然環境情報を扱うための基礎技術について、講義と実習を行った。

●社会人向け GIS 講座

自然環境分野の GIS 操作に必要な基本的な概念と操作法の習得を目的として、06 年 12 月 2 日に 10 名の社会人を対象に実施。

●自然環境 GIS 集中講義

東京環境工科学園との契約に基づき、GIS の基礎操作を学習済の 2 年次生 15 名を対象に、07 年 4 月 14, 15 日、21, 22 日の 4 日間、自然環境をテーマとした応用的な GIS 操作・解析に関する集中実習講義を行った。GCN 役員・会員 12 名が講師・アシスタントに従事した。

●国立公園レンジャー向け GIS 講座

06 年 11 月 20 日、環境省環境調査研修所（埼玉県所沢市）において、国立公園のレンジャー 35 名を対象に、GIS を利用した環境ベースマップの作成手法と活用に関する講義を実施した。

●岐阜国際園芸大学校 GIS 講座

岐阜国際園芸大学校へ GIS 教材を提供、講師を紹介した。

●狭山丘陵巡検

07 年 4 月 30 日に GCN 会員、東京学芸大学の学生・院生、社会人の合計 26 名が参加して、狭山丘陵プロジェクト担当の井本副理事長の案内で、代表的な森林や植物を観察し、地形・地質との関わりを検討した。また良好な地質の露頭も観察した。観察結果は今後の都市公園としての狭山丘陵の管理計画や、新たな自然観察コースの設定などに活かす予定。

●サロベツ長沼巡検

初夏の植物な最も豊かな時期をねらって 07 年 6 月 24,25 日に、小泉理事長の案内で 26 名が参加して巡検を実施した。長沼湖沼群は、日本海に沿って何列もの砂丘と森林が並列する手つかずの場所で、日本海側から内陸にかけての森林の遷移がよくわかる、巡検には格好の場所である。改めてここの自然の価値を認識し、世にだす必要を実感した。

●ESRI2006

第26回ESRIユーザー会が、2006年8月6～10日に米国カリフォルニア州サンディエゴ市で開催され、GCN会員4名が参加した。SCGISのグループミーティングに出席した。会の終了後、ヨセミテ公園で米国の自然保護政策と保全活動について学んだ。

●ESRI2007

第27回ESRIユーザー会が、07年6月18～22日に米国カリフォルニア州サンディエゴ市で開催され、GCN会員3名が参加した。人口増加や資源の枯渇など地球をとりまく問題解決のためGISを積極的に活用していくことが強調されており、当会からは西表島の植生図をマップギャラリーに展示し好評を得た。自然環境保全ユーザーとの情報交換や新たなGISツールの発掘などを行った。

●GISコミュニティフォーラム

ESRIジャパン社主催のGISコミュニティフォーラムが、06年11月16,17日に青山TEPIAで開催され、ライチョウのハビタットマップや植生図の活用について展示をしてGCNの活動紹介をするとともに、ブース来場者約200人と情報・意見交換を行った。

●野生動物学会

2006年野生生物保護学会名護大会におけるテーマセッション「担い手論と行政・研究」に参加した。野生生物の保護・管理を最前線で行ってきた地域社会の過疎化・高齢化がすすみ、深刻な人材不足に陥っていることをふまえ、今後の「担い手」はどうあるべきなのか、研究者や行政、学生など様々な立場から活発な議論が行われ、当会はNPOの立場からコメントした。

●国連大学

東京渋谷にある国連大学を66年12月12日に、FANの学生4人とともに8人で訪問した。アジア・アフリカにおける野生動物の保護、特にワシントン条約に関して緊急対策を要する問題点について情報交換と活発な議論をした。GCNの活動についても紹介し交流を図った。

●地域自然情報研究会

地域の自然保護に係わる技術者、研究者、学生を対象に、先進的な事例や研究を紹介し共に考える場として、地域自然研究会を開催している。月一回の定期的開催とし、昨年度は12回実施した。話題提供はGCN内外から募り、1時間の講演とその後の活発な議論で構成している。

4. 自然環境保全にかかわる支援活動事業

●西武・狭山丘陵パートナーズ

東京都指定管理者西武・狭山丘陵パートナーズの一員として、野山北六道山公園他3公園の自然環境情報のGISデータ整備を行った。事業は5年間の継続事業であるが、その1年目として既存資料の収集とGISデータ化、東京都のDMデータからのベース図の作成が主要な作業となった。また定期的なミーティングに参加、現場の要望をとりいれながらの作業を実施した。

●阿蘇草原再生協議会

昨年度に引き続き、阿蘇草原再生協議会に参画している。阿蘇草原再生全体構想が策定され、具体的な事業や活動がスタートすることになったが、そのための情報交換・意見交換に加わり、活発な議論・検討を行った。